

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団  
2023 年度 事業報告  
(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2023 年度は、これまでのコロナ禍での取組みの継続・深度化に加えて、感染症法における新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更を踏まえ、「安全セミナー」の開催に併せて AED を活用した心肺蘇生法等の体験会を再開するなど、事業計画に掲げた各事業を着実かつ効果的・効率的に推進した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

コロナ禍を経て、「いのち」や「グリーフ・ケア」等の重要性が増す中、引き続き、多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的として、「いのちのセミナー」を 6 回開催した。

なお、聴講者のニーズを踏まえ、場所・時間等の制約がない「WEB 配信」を基本としつつ、昨年度から定員を増やして「臨場感のある会場開催」も実施した。

<第 1 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,632 回

配信期間：2023 年 6 月 21 日(水)～10 月 2 日(月)  
講師：関本 雅子 氏 (かえでホームケアクリニック顧問)  
演 題：がんで他界した息子を看取った緩和ケア医の思い ～2 年半の闘病生活に伴走して～

<第 2 回 開催概要> 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 373 名、ライブ配信 121 名

配信期間：2023 年 7 月 23 日(日) 13 時 30 分～15 時 00 分  
講師：伊藤 真波 氏 (北京・ロンドン パラリンピック競泳日本代表、日本初義手の看護師)  
演 題：あきらめない心

<第 3 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：2,956 回

配信期間：2023 年 9 月 22 日(金)～2024 年 1 月 5 日(金)  
講師：林 覚乗 氏 (南蔵院第 23 世住職)  
演 題：心ゆたかに生きる

<第 4 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,175 回

配信期間：2023 年 12 月 25 日(月)～2024 年 4 月 1 日(月)  
講師：村上 靖彦 氏 (大阪大学 人間科学研究科教授、同 C i D E R 兼任教員)  
演 題：ケアとは何か

<第 5 回 開催概要> 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 334 名、ライブ配信 108 名

配信期間：2024 年 3 月 3 日(日) 13 時 30 分～15 時 00 分  
講師：玉城 ちはる 氏 (シンガーソングライター、安田女子大学非常勤講師、家族相談士)  
演 題：命の参観日 ～あなたらしく生きてほしいから～

### <第6回 開催概要> 「YouTube」による録画再配信

配信期間：2024年3月21日(木)～2024年7月1日(月) (予定)

配信内容：2021年9月から2022年6月にかけて実施したセミナーの再配信(3回分)

- ・安田 登 氏 「残念」の声を聴く ～ 能と日本人の死生観 ～
- ・西岡 秀爾 氏 中道で道中を歩む ～ 禅に学ぶ生き方～
- ・高橋 聡美 氏 折れる心の守りかた ～ 生きづらさに寄り添うために ～

### (2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切にする「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、通算5回目となる作文コンクールを以下のとおり実施した。

#### <実施概要>

テ ー マ：あなたにとっての「いのち」

募集期間：2023年7月1日(土)～9月11日(月)

募集対象：近畿2府4県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）に在住・在学の小・中学生

選考委員：菊池 省三 氏（教育実践研究家） 重松 清 氏（作家） 津村 記久子 氏（作家）

応募状況：5,244人

表彰：大賞（4人）、優秀賞・選考委員特別賞（6人）、優秀賞（20人）、入選（70人）

表彰式：2023年12月17日(日) 14:00～15:30 毎日新聞オーバルホール

作品集：2024年1月に900部発行、財団HPでも公開

### (3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材を養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

2023年度は、「グリーフケア人材養成課程（大阪・2年制）」に35名が入学し、うち31名が2年次に進級するとともに、在籍する2年次生のうち34名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会の「臨床スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す「資格認定課程（1年制）」には12名が入学し、11名が同課程を修了した。

## 2. 地域社会の安全構築に関わる事業

### (1) 「安全セミナー」の開催

コロナ禍の影響によりAEDの使用率と救命率が低下していることや激甚化する自然災害が増える中、災害時におけるファーストエイドの重要性が増していることを踏まえ、AEDを使用した心肺蘇生法等を学ぶことを通じて「救える命を救いたい」という想いとスキルを持って頂くことを目的に、市民・地域社会への啓発活動として以下のセミナーを開催した。

なお、日本AED財団、NPO法人大阪ライフサポート協会の後援・協力のもと、これまでの「救急フェスタ（AED使用・心肺蘇生法等の体験イベント）」に代えて、本セミナーに「実技講習」を組み込んだほか、終了後、希望者に対して「AED訓練器と訓練用人形の体験」の場を提供した。

#### <開催概要>

開催日時：2023年11月26日(日) 14:00～16:00  
開催方法：会場（新大阪ワシントンホテルプラザ・イベントホール）及びライブ配信  
テーマ：「救える命を救いたい」～目の前のSOSに誰もがAEDを使える社会へ～  
基調講演：桐田 寿子氏（ASUKAモデル関係遺族）※対談にもパネリストとして参加  
対談：石見 拓氏（日本AED財団 専務理事、京都大学大学院 教授）  
島本 大也氏（日本AED財団 実行委員、大阪ライフサポート協会 委員）  
実技講習：映像とトレーニングキットを使用して胸骨圧迫やAEDの使用方法を習得  
参加者数：134名（会場79名、ライブ配信55名）  
※ 終演後、希望者に対しAED訓練器・訓練人形の体験（約20名）

## (2) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

### ① 2024年度AED訓練器等の助成（募集、審査、決定）

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通りAED訓練器・訓練人形を助成した。

	株式会社	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(セット)	2(2)	5(27)	1(2)	10(52)	18(83)
助成件数(セット)	—(—)	1(1)	—(—)	6(15)	7(16)

### ② 2023年度AED訓練器等助成事業活動成果報告会

助成期間（3年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的として、前年度に続き、活動成果報告会を以下のとおり開催した。

#### <開催概要>

開催日時：2023年9月10日(日) 15:00～18:00  
場 所：ホテルヴィスキオ尼崎 2階 オーク・ウエスト（報告会）、同イースト（意見交換会）  
発 表 者：2団体  
参 加 者：約30名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）  
そ の 他：卒業団体6団体へ感謝状・記念品の贈呈  
：山畑 佳篤氏（京都府立医科大学 救急医療部 救急・災害医療システム学教室 講師）による救命処置に関する講演  
：各団体及びAED訓練器等助成事業審査委員会委員との意見交換会

## 3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

### (1) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。

また、昨年度に続いて、いのちの電話（近畿ブロック7団体）において、団体間の連携強化を図るために実施している「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」に対しても助成を行った。

## (2) 関西遺族会ネットワークへの助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会（定例会）の開催、並びにスキルを蓄積し個々の遺族会にフィードバックすることを目的としたコロナ遺族への対応に対し、助成を行った。

## 4. 公募助成事業

### (1) 2024年度公募助成（活動及び研究）の実施（募集、審査、決定）

設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。また、研究助成に関しては、2021年度より、その成果の質的向上のほか、社会において活用されることを促すことを目的に複数年(2年)助成制度を開始した。

今年度は、前年度に採択した2023年度研究助成(2年助成)4件全ての継続を決定するとともに、2024年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について公募を実施し、審査のうえ、応募のあった93件のうち、44.1%に当たる41件を採択した。

これにより、2023年度は、「継続」4件・487万円、「新規」41件・2,658万円、合わせて総計45件・3,145万円の助成を行った。

区分		応募件数	助成件数	助成金額
継続	研究助成(2年目継続)	—	4件	487万円
新規	活動助成	49件	33件	1,565万円
	研究助成※	44件	8件	1,093万円
小計		93件	41件	2,658万円
総計		—	45件	3,145万円

※2024年度研究助成のうち、複数年(2年)助成は、5件・692万円(2年目697万円)

### (3) 第13回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2022年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を以下のとおり開催した。

#### <開催概要>

開催日時：2023年8月4日(金) 13:30~19:00

会場：ホテルヴィスキオ尼崎 2階 オーク

発表者：7団体、研究者1名

参加者数：約60名(発表者、傍聴者、当財団役員・委員等)

その他：交流会(出席団体の活動報告書ポスター掲出を含む)

## II 財団運営に関わる事項

### 1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

#### (1) 評議員会

開催回数：1回（うち、書面開催0回）

決議事項等：2022年度計算書類等の承認、理事の選任、監事の選任（補欠）

#### (2) 理事会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

[第1回 2023年5月26日]

2022年度事業報告及び計算書類等の承認、事業審査評価委員会委員の選任、AED訓練器等助成事業審査委員会委員の選任、評議員会の招集

[第2回 2023年6月15日 ※書面]

代表理事（理事長）及び業務執行理事の選定並びに常務理事の選定

[第3回 2023年12月8日]

2023年度収支予算の変更の承認

[第4回 2024年2月26日]

2023年度収支予算の変更及び特定費用準備資金の積立ての承認、  
2024年度公募助成（活動及び研究）の採択決定等の承認、  
2024年度「上智学院、いのちの電話」への助成の承認、  
2024年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、  
2024年度基本財産の運用基本方針の承認、  
2024年度事業計画及び収支予算の承認、  
2025年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、  
2025年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

#### (3) 事業審査評価委員会

開催回数：4回（うち、書面開催1回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2023年5月19日]

2022年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、  
2022年事業報告(案)、2024年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2023年7月1日 ※書面]

事業審査評価委員会委員長の選定

[第3回 2023年12月22日]

2023年度研究助成(2年助成)の助成継続可否、  
2024年度公募助成(活動及び研究)の審査

[第4回 2024年2月2日]

2024年度公募助成(活動及び研究)の審査、  
2024年度助成先の審査、  
2024年度事業計画(案)に対する指導・助言

#### (4) A E D訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2023年5月1日]

2022年度A E D訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、

2024年度A E D訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2024年1月15日]

2024年度A E D訓練器等助成事業の審査

## 2. その他

### (1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

### (2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行うとともに、公募助成やA E D訓練器等助成で当財団が助成を行っている団体の取り組みを紹介した。また、事業実施時において、J R主要駅へのポスター・パンフレット掲出や記者クラブを通じたプレス発表に加えて、SNS（Facebook 企業ページ・Facebook 広告）を活用した情報発信やPRTIMES社の非営利団体活動支援プロジェクトに参画しネット媒体への情報提供も行った。

このほか、財団紹介用パンフレットの制作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2023年4月、11月）、並びに「いのちの作文コンクール」作品集の製作及び参加校や地域の図書館等への配布など、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

### (3) 報道実績

- ・2023年度「いのちのセミナー」7月開催・参加者募集 … 奈良新聞（5/24）  
※ネット32媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン等）
- ・いのちの作文コンクール小・中学生の作品募集 … 交通新聞（6/28）  
※ネット21媒体（読売新聞オンライン・東洋経済オンライン・現代ビジネス等）
- ・2024年度公募助成を募集/A E D訓練器等助成先を募集 … 交通新聞（8/17）  
※ネット22媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・「いのちの」作文コンクール表彰式 … 交通新聞（12/21）  
※ネット25媒体（読売新聞オンライン・東洋経済オンライン・時事ドットコム等）

[ネット媒体のみ]

- ・第1回いのちのセミナー … 22媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・第3回いのちのセミナー … 33媒体（産経ニュース・時事ドットコム・朝日新聞デジタル等）
- ・第4回いのちのセミナー … 35媒体（読売新聞オンライン・東洋経済オンライン・産経ニュース等）
- ・第5回いのちのセミナー … 33媒体（産経ニュース・時事ドットコム・朝日新聞デジタル等）
- ・2023年度安全セミナー … 19媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・A E D訓練器等助成先決定 … 24媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・公募助成先の決定 … 23媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）